

## メコン地域における企業のサプライチェーン展開の実態と展望

日 時：2017年9月5日（火） 14:00～17:00  
会 場：タイ商工会議所大学バンコクキャンパス  
共 催：タイ商工会議所大学 SME センター

### 【挨拶・趣旨説明】

小林 守（アジア産業研究センター代表／専修大学商学部教授）

### 講演：

小林 守

*Business Climate and Activities Relating to Development of the Cross Border Area in Vietnam, Laos and Cambodia – Japanese Viewpoint–*

ラダワン・レクマット（タイ商工会議所大学 准教授）

*Survey Relating to the Market Entry Objectives and Current Situation in Thailand*

岩尾 詠一郎（アジア産業研究センター研究員／専修大学商学部教授）

*Characteristics of logistics in Thailand and Vietnam  
～ Based on the questionnaire survey results ～*

プサディー・ホルサラム（タイ商工会議所大学 Director of AEC Strategy Center）

*Survey Relating to the Market Entry Objectives and Current Situation in Myanmar*

### 【総括】

ラダワン・レクマット

### 【司会・進行】

内野 明（アジア産業研究センター研究員／専修大学商学部教授）

社会知性開発研究センター／アジア産業研究センターの国際シンポジウム「メコン地域のビジネス発展」(“Business Development of SMEs in Mekong Region”)が、タイ商工会議所大学（UTCC）との共催で9月5日午後タイ商工会議所大学バンコクキャンパスにて開催された。このシンポジウムはメコン地域5カ国（ベトナム・ラオス・カンボジア・タイ・ミャンマー）とASEANを中心とした関連周辺地域の市場分析をテーマとするアジア産業研究センターのプロジェクトの5回目の国際シンポジウムである。これまで本プロジェクトで行ったタイ、ミャンマー、ベトナム、ラオス、カンボジ

アにおける調査を相互に報告し合い意見交換をすることを目的とし、「日本発」の視点から見たメコン地域のサプライチェーンネットワークに関する報告とメコン地域の中核国である「タイ発」の視点を比較、検討した。今回の共催校である UTCC からはラダワン准教授とプサディー所長がそれぞれタイ、ミャンマーにおける中小企業経営に関するアンケート調査に基づく報告を行い、本学からは小林守教授と岩尾詠一郎教授がメコン地域の東西経済回廊や南部経済回廊周辺地域に関わる投資環境とロジスティクスの現状を報告した。内野明教授の進行で進められた本シンポジウムの会場には UTCC の教員、学生等併せて 100 名程度の聴衆が訪れ、熱心に耳を傾けた。

本学のアジア産業研究センターと UTCC の経済ビジネス予測センターは 2015 年から国際交流組織間協定を結んでおり、この協定に基づいて今回のシンポジウムが実現した。このシンポジウムを受けた UTCC からは、研究交流のみならず学生の交換留学などを含む本学との一層の協力関係の拡大に期待が寄せられるものになった。

また、このシンポジウムに併せて、タイ企業経営者との懇談会が翌 9 月 6 日午前で開催された。これには、プロジェクトメンバーである大崎恒次商学部准教授も参加し、UTCC の紹介で招かれたタイ商工会議所の幹部 2 名の経営者と忌憚のない意見交換を行った。それぞれ、貿易企業およびコンサルタント企業の経営者であり、2015 年から始まったアジア共同経済体（AEC）の実際の運用状況やタイ企業のアフリカなどでの活動の拡大について聞き取ることが出来た。また、タイ側からベトナムーラオスータイーミャンマーを結ぶ東西経済回廊メコン地域を中心としたエリアへの日本企業による一層のビジネス展開を期待する意見なども聞き取ることができた。



アジア産業研究センター代表 小林 守 (講演者)



アジア産業研究センター代表 小林 守 (講演者)



(右奥から) アジア産業研究センター研究員 内野 明、  
岩尾 詠一郎、小林 守